

没後20年 細江光洋展

「飛驒を撮る」—記録と記憶、交差する眼



細江光洋《村の分教所》1952(昭和27)年
ゼラチン・シルバープリント 岐阜県美術館蔵

高山出身の写真家細江光洋^{ほそえ こうよう}(1920-2003)は、変わりゆく飛驒の人々のありのままの暮らしを生涯撮り続けました。取材を通して養われた細江の記録する眼は、懐かしい風景を記憶する心の眼と重なり合い、日本の故郷「飛驒高山」のイメージを作り上げました。

本展ではユネスコ世界遺産に登録されている白川郷の合掌造り集落を記録した貴重な写真をはじめ、飛驒を内側から撮影した作品を紹介します。

展覧会名	『没後20年 細江光洋展「飛驒を撮る」—記録と記憶、交差する眼』
会場	岐阜県美術館 展示室2 (岐阜市宇佐4-1-22)
会期	令和5年7月1日(土)~9月3日(日) 10:00~18:00 ※休館日:毎週月曜日(祝・休日の場合はその翌平日) ※夜間開館:7月21日(金)、8月18日(金)は20:00まで開館 ※展示室の入場は閉館の30分前まで
観覧料	一般 340(280)円 大学生 220(160)円 高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料
主催	岐阜県美術館
後援	白川村、高山市、飛驒市
協力	細江スタジオ

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当:後藤 担当学芸員:廣江、松岡
〒500-8368 岐阜市宇佐 4-1-22

TEL 058-271-1314 FAX 058-271-1315

美術館 Web サイト: <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: kouhougifukenbi@govt.pref.gifu.jp

本展覧会について

～飛驒で生きて死んでいく一人の人間として、

ひだびと 飛驒人の心の内を撮影した写真家の全貌に迫る～

細江光洋は飛驒を代表する写真家です。1920(大正9)年に高山市上一之町に生まれ、新聞記者を経て独立、写真館を営む傍ら、国際写真サロンや多数のコンテストに力作を出品し、受賞を重ねました。その後、1953(昭和27)年に刊行された岩波写真文庫『飛驒・高山』(岩波書店)の写真家の一人として知られるようになり、以降、日本の故郷飛驒高山のイメージを決定づける多くの写真を、アサヒグラフ等の雑誌や観光ポスター等で紹介していきました。国内でも、国画会、日本写真協会、二科展で受賞、また、地域文化への貢献から、高山市文化功績賞、岐阜県芸術文化顕彰等を受賞しました。

細江は、飛驒で生きる写真家として、飛驒を内側から視て撮り続けることを使命として貫き、飛驒地方の暮らしや風土を精力的に記録し続けました。特に白川村加須良の合掌集落が集団離村するまでを追い続けた写真群などは、写真という表現媒体を通して次世代へと繋いでいく記憶として、過ぎた月日をリアルに知ることができる貴重な文化財といえるでしょう。

本展覧会は、没後20年という節目の年に、細江光洋の仕事の全貌を振り返るものです。白川郷がユネスコ世界遺産となるきっかけとなった写真から、後世に遺していかなければならないと記録し続けた飛驒の日常、晩年に取り組んだ円空仏の写真まで、80点を超える作品と資料によって紹介します。

細江光洋 プロフィール

細江光洋 Koyo HOSOE 1920/大正9—2003/平成15

1920(大正9)年 高山市上二之町に生まれる。本名 綱一。

旧制岐阜県大垣中学校(現・岐阜県立大垣北高等学校)を卒業後、飛驒日日新聞社写真部勤務の父の助手を務める。その後富山新聞高山支局の記者となり、高山別院の大火などを取材する。古老への取材を通じ、民俗資料、飛驒の風土に興味を抱く。

1953(昭和28)年 富山新聞を退社し、高山市内に「細江光洋スタジオ」開業。

撮影に携わった『飛驒・高山』や、共著『飛驒—風土と民俗』(朝日新聞社、1964年)、『飛驒路の四季』(朝日新聞社、1970年)、『カラー飛驒路の魅力』(淡交社、1978年)をはじめ、『細江光洋写真全集』(全3巻、郷土出版社、1993-1995年)、『北アルプス乗鞍岳 いきづく大自然と人びと』(丹生川村、1995年)、『世界遺産 白川郷—幻の集落を追って50年』(郷土出版社、1996年)、『写真集 雪国—北飛驒かわい』(河合村、1998年)を刊行。様々な観光ポスターやガイドブックの製作に関わり、飛驒の魅力をも日本のみならず世界へと発信した。

1994(平成6)年 岐阜県芸術文化奨励賞受賞(平成5年度)

1997(平成9)年 岐阜県芸術文化顕彰受賞

2003(平成15)年 高山市で没

展覧会の見どころ

幻の集落・世界遺産 白川郷に出会う

細江光洋の写真には、高度経済成長により近代化する前の飛騨地方が記録されています。そこには、「飛騨・高山」という言葉から私たちがイメージする同地の姿が写し出されています。現在目にすることができない当時の生活の様子や文化などを知ることができる点においても大変貴重な写真として注目されています。

オリジナルプリント——世界に1枚しかない写真

写真は何枚も焼き増しができます。しかし、写真にはオリジナルプリントという貴重なプリントが存在します。撮影時のイメージをフィルムから現像するために、暗室での感光時間を調整したり、追い焼きを重ねたり、レタッチやトリミング等、写真という版のうえでの芸術的創作が行われています。岐阜県美術館の細江光洋コレクションには、このオリジナルプリントが多数含まれており、芸術性においても高く評価されています。

没後20年を機に細江光洋の写真業を振り返る久しぶりの展覧会

細江光洋は、生まれ生活した地・飛騨を生涯大切にしました。写真家として世界的に評価されながらも、飛騨に生きる写真家として、地元にいる者にしか撮ることができない、飛騨の人々の写真を撮り続けました。また、その記録性からも、飛騨の人々の心の拠り所になればと、撮りためた写真を岐阜県に一括寄贈されるなど、文化振興にも貢献されました。こうした経緯から、岐阜県美術館ではこれまで、没後10年展（高山市文化会館/2013年）や細江光洋の世界展（岐阜県美術館移動美術館として開催。飛騨市美術館/2018年）など、地元での展覧会を中心に作品の公開をしてきました。

本展では、これまでの展覧会で紹介しきれなかった晩年の円空仏の写真など、初展示作品を含めながら「飛騨に生きる」「飛騨の暮らし」「祭りと信仰」「世界遺産 白川郷」「円空仏を撮る」等のテーマにより、人々の記憶を呼び覚ます、その芸術性を展覧していきます。

■ 関連プログラム

◆ナンヤローネ アートツアー

アートコミュニケーション作品《Such Such Such》を体験しながら、展示作品の魅力を味わいます。

日時：令和5年7月23日（日）14:00～15:30

会場：岐阜県美術館 多目的ホール、展示室

備考：申込み方法などの詳細は、岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

■ 同時開催（◆は会期中、同展観覧券の半券にてご観覧いただけます。）

- ◇「こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界」
公開制作：令和5年7月21日（金）～9月24日（日）
※企画展示のため、細江光洋展の半券ではご観覧いただけません

- ◇「アーティスト・イン・ミュージアム AiM Vol.14 ^{したたりく}設楽陸」
公開制作：令和5年7月20日（木）～9月3日（日） 観覧無料

- ◆「季節のうつろい 夏から秋へ」
令和5年7月11日（火）～11月5日（日）

- ◆「ルドンコレクションから：ルドンとフランス世紀末絵画」
令和5年6月27日（火）～10月1日（日）

- ◆「さかのぼり岐阜洋画史 平成・昭和編」
令和5年6月27日（火）～10月1日（日）

■ 展覧会及び関連プログラムの日時については、延期・中止する場合がございます。

詳細は岐阜県美術館ウェブサイトでご確認ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索 

岐阜県美術館 企画展

没後20年 細江光洋展

「飛驒を撮る」—記録と記憶、交差する眼



広報画像貸出申込書

FAX 送信番号：058-271-1315



貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名：)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL：	FAX：	
	E-mail：		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 (月号) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

 はい 画像データ到着希望日 (月 日) いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

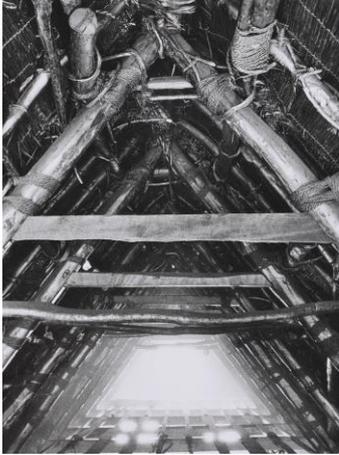
3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記 全作品ゼラチン・シルバークラウド
<input type="checkbox"/>	①	細江光洋「合掌梁」 昭和35年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	細江光洋「離村集落の狛犬」 撮影年不詳 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③	細江光洋「雪の日」 昭和33年 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④	細江光洋「戸数八戸の集落」 昭和27年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	細江光洋「牛を引く少年」 昭和27年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	細江光洋「老婆」 昭和26年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	細江光洋「村の洋品店」 昭和25年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	細江光洋「牛小屋の前で」 昭和27年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	細江光洋「村の分教所」 昭和27年 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑩	細江光洋「囲炉裏」 昭和27年頃 岐阜県美術館蔵

■広報画像一覧

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- ウェブサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。